

シャフト形状・スライドシャフト

■シャフト形状

標準

六角型シャフト

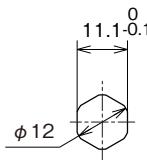
■対応機種: $\phi 48.6 \cdot \phi 50 \cdot \phi 57 \cdot \phi 60.5$ ・テーパ

NOTICE

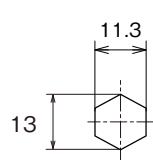
- 標準シャフト以外は別途ご指示ください。
- その他につきましては、お問い合わせください。

寸法図

■シャフト寸法

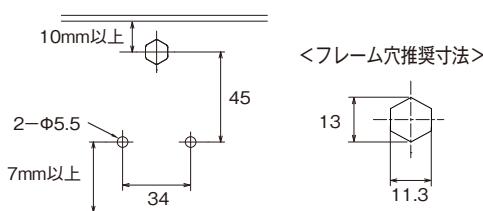


■フレーム穴参考寸法



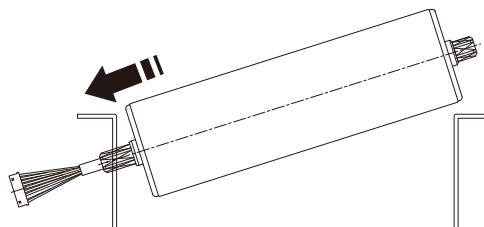
■取付方法について ●コンベヤフレームにPULSEROLLER SENERGYを取り付ける。※取付金具「PR-D-30H-PU-N」使用の場合

- 1 コード側のフレームに、下記寸法の穴加工をします。



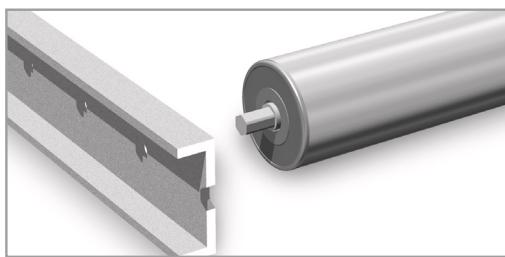
※フレームの厚みが3.2mm以外の場合は、別途ご相談ください。

- 2 PULSEROLLER SENERGYのコネクタ付コードをフレームの取り付け穴に通してシャフト部をフレームに差し込みます。



- 3 反コード側のシャフトをスライドさせてもう一方のコンベヤフレームに差し込みます。

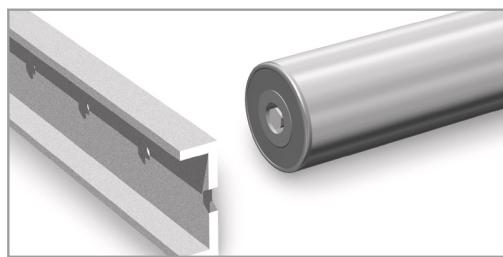
スプリングの力によって戻るので、PULSEROLLER SENERGYの着脱はコンベヤフレームを分解する必要はありません。



POINT

■スライドシャフトは図の様に、押すと端面までは入ります。フレームに取付け後は、スプリングの力で元に復帰します。スライドシャフト付PULSEROLLER SENERGYの場合、着脱にはコンベヤフレームを分解する必要はありません。

※ $\phi 48.6 \cdot 50.0$ は、完全にスライドしません。
(カラー部約4mm程度残ります)



NOTICE

■製作可能最小ローラ幅によっては、スライドシャフト機構付ではない場合もあります。確認の上ご使用頂きます様お願い致します。

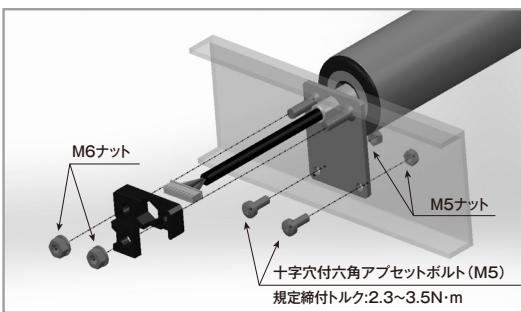
■PULSEROLLER SENERGYをコンベヤに組み込む時、シャフトに競りが発生しないようにしてください。

- 4 固定金具を十字穴付六角アセットボルト(M5)を使用しフレームに取付けPULSEROLLER SENERGYを固定します。

規定締付トルク: 2.3~3.5 N·m

スライド金具は、仮固定してください。

※コードを傷付けない様にお気を付けください。



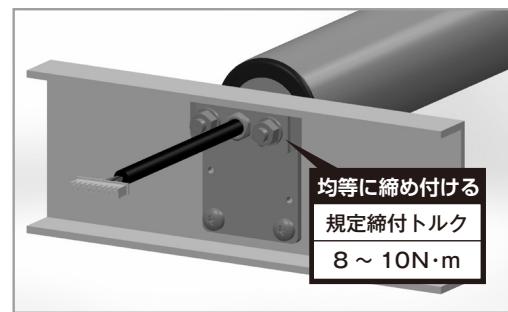
- 5 固定金具のナット(M6)を左右均等に締め上げます。

規定締付トルク: 8~10 N·m

※締付けが緩いとシャフトが空回りし、

コード断線等の故障の原因となります。

※フレームの内側とシャフトカラー部分(4mm部分)が
あたるよう設置してください。



⚠ 注意

- コンベヤフレーム又は取付金具にコードを通す時にコードを傷付けない様にお気を付けください。
- 取付金具は、弊社指定の物を使用し確実に固定してください。
- フレーム内寸法とPULSEROLLERの隙間を2mm程度確保するようローラ幅を選定してください。

ドライバー
カード

ブラシレス

テーパ

各種仕様

運動

ライニング

オプション

シャフト
形状

PDU90
PPU
PSU30

設計上の
注意